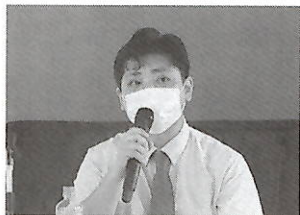


乳幼児の口腔ケアは歯が生える前から

8月2日には、袖ヶ浦市 民会館主催の健康教室



乳幼児の口腔ケアの大切さを伝える渡辺氏 = 8月2日・袖ヶ浦市民会館（袖ヶ浦市）

に渡辺泰平氏（木更津市・陽光台ファミリー歯科クリニック）を講師として派遣。「乳幼児の口腔ケア」をテーマに健康講話を行い、親子5組7人が参加した。

冒頭、渡辺氏は「乳歯は永久歯に比べてエナメル質が薄く、むし歯になると進行しやすいため適切な口腔ケアが重要」と話した。歯が生える前から歯ブラシに触れさせ、親子で歯磨きの練習をすることが肝要とし、仕上げ磨きをする際のコツとむし歯が多発する部位を

解説した。また、「1歳半から2歳半までの時期は『感染の窓』と呼ばれ、親から子へむし歯菌が移りやすい時期であり、この時期の対応次第で、生涯のむし歯リスクが決まる」と強調した。

その後、フッ素のむし歯予防効果を説明。フッ素洗口、歯面塗布、フッ素入り歯磨剤はそれぞれ予防効果と使い方が異なり、適切に使用していくことが肝要だと話した。講演終了後、参加者からは子どもの歯科矯正治療を開始するタイミングについて等の質問が寄せられ、丁寧に回答した。